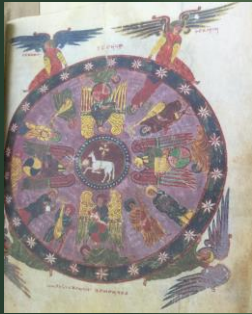




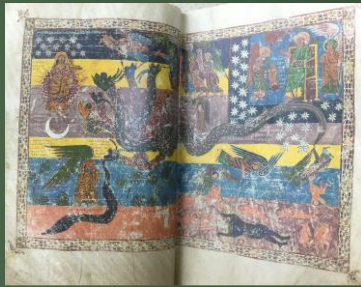
# Library Liébana

## 2022年4月度展示内容のお知らせ

### 【今月のベアトゥス写本】



(モーガン写本)



(ファクトゥス写本)

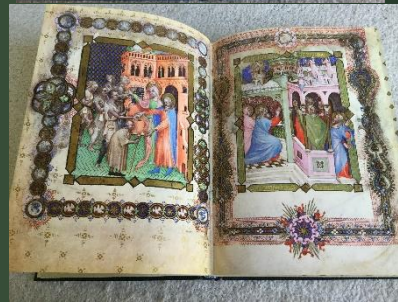
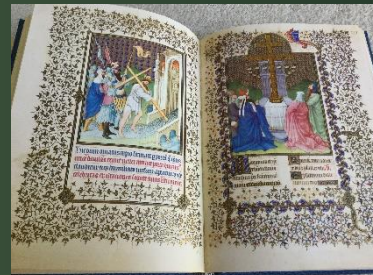
ベアトゥス写本の系統IIaに属する写本です  
モーガン写本 10世紀中頃の制作  
ファクトゥス写本 1047年完成の豪華な写本

### 【中世の時禱書写本】

(右)ベリー公の  
いとも豪華な時禱書

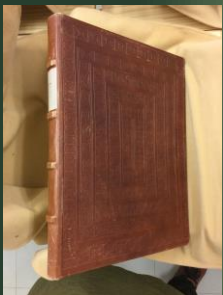


(左)ベリー公の  
美しき時禱書



(左)ヴェスコティ家の  
時禱書

### 【今月中世写本】



道徳聖書(教訓聖書) (Cod. 2554)

### 【今月の黙示録写本】



・トリニティ黙示録写本  
(13世紀中頃 イギリス又はフランス)

## ファクシミリ本でみるスペイン黙示録の世界 中世彩色写本を紹介

愛知県豊田市西町5丁目5  
VITS豊田タウン B1F  
毎週日曜日 11:00~17:30  
H.P.

4月の開館日(予定)  
日・水・木・金曜日  
(HPで確認下さい)

ファクシミリ本とは：  
オリジナル写本の大きさや色を再現。  
特に羊皮紙の厚みやしわも忠実に  
再現した複製本も多数展示しています。



4月						
日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
1	2	3	4	5	6	7

## ベアトゥスの黙示録註解書写本について

中世初期のイベリア半島北部アストゥリアス地方のリエバナにある修道院の修道士、ベアトゥス(ベアト Beato ? -798)が776年に「ヨハネの黙示録註解書」を編纂しました。原本は既に存在していませんが、非常に人気を博し、10世紀から12世紀にかけて多くの写本がイベリア半島はもとよりフランスやイタリアなどで制作されました。ほとんどの写本には、彩色された挿絵が多数描かれており、その鮮やかな色使いと想像力豊かなインパクトの強い挿絵が後世にながく影響を与えてきました。

これまでに発見されたベアトゥス写本のうち、挿絵入りのものは29 写本あり、そのうち完本の写本は22 写本、断簡の写本が7写本あります。

本ライブラリーには完本22写本のうち19写本のファクシミリ版があります。ファクシミリ版の中には羊皮紙の厚みやシワ・汚れ・破れ・落書き、製本様式や装丁などをそのまま再現した精巧なものもあります。

1000年近く前に作成された写本の当時の雰囲気味わってください。

### 今月のベアトゥス写本

系統 II aの5写本から2写本を紹介します。

#### 【モーガン写本】

マドリド写本と並んで一番初期の完本写本。もともとは1冊であったが、19世紀以来の木製カバーと装丁が弱っていたのを、1990年から1992年にかけてモーガン図書館が修理して2分冊とした。当初からの落丁はおそらく30葉程度と考えられる。そのうち挿絵は11葉と推測。

マドリド写本は枠取りのない挿絵が主であったが、モーガン写本では挿絵に枠取りをして、画面の地を幾つかの帯状色面で抽象的に処理する手法は、輝くばかりの色彩効果や破綻なく図像をまとめ上げる構図上の機能などにおいて、以降の写本の手本になったといえる写本。

#### 【ファクドゥス写本】

1047年にフェルナンド1世とサンチャ王妃に献上された写本。写字・挿絵をおこなったファクドゥスの名から「ファクドゥス写本」と呼ばれています。

全312葉の写本は残存するベアトゥス写本の中で最も葉数が多い写本で、98の美しい挿絵が描かれています。また、金・銀・紫がふんだんに使用され、豪華な挿絵が98点描かれています。

挿絵の特徴として、その大胆な色彩対比と明快なデザイン性、さらに王家の特注品であるためか、玉座・祭壇等に金彩の使用が目立つ。それにもかかわらずモサラベ特有の繊細な装飾感覚に満ちている。

### 今月の黙示録写本

#### 【トリニティ黙示録写本】

1230-1250にイギリス南部かフランス北西部で製作された大型の写本。

31葉の羊皮紙に100以上の挿絵が描かれています。ゴシック書体のフランス語で書かれています。トリニティ大学図書館蔵

### 時禱書の世界

時禱書とは、平信徒たちが祈りを捧げるときに用いる書物のことです。13世紀になると平信徒の間で修道士たちの習慣に倣って、定時に祈りを捧げることが広まりました。聖職者たちが用いていた祈禱書は「聖務日課書」と呼ばれ、平信徒たちが用いるにはあまりに難しいものでした。平信徒たちが用いやすいように単純化して編纂した祈禱集が「時禱書」です。

#### 【ベリー公のいとも豪華な時禱書】

ベリー公ジャンの蔵書の中でも、もっとも贅を尽くした写本。その装飾に着手したのは、写本画家の最高峰ランブル兄弟で、美しさにおいても、豊かさにおいても、斬新さにおいても、この写本は他を大きく引き離している。写本装飾のピークといえる。

#### 【ベリー公の美しき時禱書】

ベリー公が発注しランブル兄弟がすべてを完成させた豪華な時禱書。テキストは一行おきに赤と青のインクを使って記されている。多くは、一三世紀のドメニコ会修道士でのちにジェノヴァ司教になったヤコブス・デ・ウォラギネによる「黄金伝説」にもとづいている。時禱書にこうした物語が挿入されることはきわめてまれで、それがこの写本の特徴となっている。

(「中世パリの装飾写本」前川久美子より)

#### 【ヴィスコンティ時禱書】

民間の裕福な人のために写本が作られた時代の、個人的な時禱書の典型的な例です。

独特の装飾に彩られたイニシアル(ヒストリアスイニシャル\*)と周縁部を埋め尽くす美しい装飾が特徴的です。

### 今月の中世彩色写本

#### 【道徳聖書】(Bible Moralisee Vienna 2554)

1220年代のパリで作られたものの一つ。130葉。道徳的な教育のために造られた絵本のようなもので、もっとも有名な挿絵は1枚目に描かれたカオスから円形の宇宙を設計するためにコンパスを使用している創造主神の絵です。

それ以外のページは、旧約聖書と新約聖書のエピソードと、類型論の面での道徳的意義を説明するイラストを組み合わせて、円形のメダリオンに描かれています。